

平成19年度「環境と経済の好循環のまちモデル事業」地域提案の概要

地域名	事業名	事業の概要
北海道洞爺湖町、伊達市 豊浦町、壮瞥町	チーム洞爺湖・マイナス 50%事業	北海道洞爺湖サミット開催決定を契機に、当地域における2030年温室効果ガスをCO2換算で50%削減することを目標とし、雪熱エネルギーを利用した農産物貯蔵施設、ビニールハウス用の炭窯余熱を利用したボイラー施設、壮瞥温泉地区の泉温確保のためのヒートポンプ加温施設、洞爺湖温泉地区等のホテル・旅館等から生ずる廃食油を用いたSVF燃料を利用したシャトルバスの運行や当地域内で製造されるペレットを利用したペレットストーブの導入等を行う。
北海道士幌町	ゆきんこ冷房システム プロジェクト	冬場の雪という自然エネルギーを回収するプラント(雪蔵)をつくり、この雪を夏場まで保存し、保存した雪を利用した夏場の冷房システム(ゆきんこ冷房システム)を児童総合施設へ導入する。また、このゆきんこ冷房システムを環境教育の場として利用することにより、目に見える形で環境教育を実現するとともに、地域住民への普及啓発を推進していく。
静岡県静岡市	地域エネルギー資源の 利活用による「清流の都 しずおか」創造推進事業	既存のBDF製造プラントを増設することにより、BDF使用車を増やし、定量的に二酸化炭素の削減を図る。 また、日常生活において市民が多く訪れるスーパーマーケットに、太陽光発電システム及びハイブリッド電灯等を設置し、地球温暖化対策のモデルスーパーとして位置付け、当事業の啓発表示板などを通じ、市民に対し新エネルギーの必要性や環境の意識啓発を広く浸透させる。 さらに、モデル事業で得られる利益を原資とし、マイバッグの配布やエコポイントの増額により、本事業のより一層の普及啓発と市民の新エネルギーに関する意識の高揚を図る。
静岡県掛川市	掛川ソーラータウン 事業	地域住民と行政、企業が一体となって地域の環境を守り育てる活動として、資源ごみの古紙を活用して、公共施設に太陽光発電設備を設置し、地域への新エネルギー普及を進めるとともに、新エネや省エネ・省資源活動を通じて、温室効果ガスの削減と低炭素社会を目指す。 今後、この事業をモデルケースとして、公共施設等への新エネルギー施設の導入を進めることで、市民に新エネルギーをより理解してもらい、一般家庭における導入率の向上を図っていく。
長野県長野市	ながのエコシティ プロジェクト	保育園・幼稚園、公民館、市民交流センター等の公共施設、民間福祉施設、事業所に太陽光モデル発電所を設置し、自然エネルギー・省エネルギーの普及啓発拠点とする。経営は市民事業を基本とし、本事業により信頼性と安定性を確保した経営基盤を実現する。 また、バイオマス利用チーム(仮称)への薪ストーブ、ペレットストーブの導入助成を行い、森づくりへの参加とモニターの確保を目指す。
長野県飯田市、松川町 高森町、阿南町、清内路村 阿智村、平谷村、根羽村 下條村、売木村、天龍村 泰阜村、喬木村、豊丘村 大鹿村	南信州・地球温暖化防 止エコ推進事業	温泉施設や農業施設、福祉施設などを対象に、重油・灯油焚きボイラからバイオマスボイラへの転換、温泉排湯の熱を利用したヒートポンプ設備、農業で排出される有機物を活用したボイラの導入、保育園・福祉施設等への太陽熱温水器の導入、ペレットストーブの導入を行う。また、公共施設や民間施設への太陽光発電設備設置を行い、得られた電力は各施設が活用することを検討している。さらに、公共施設や民間施設への省エネ機器導入や省エネアドバイスによるエネルギー消費量の削減を図る。 これらの事業を通して、地域の自然エネルギー・省エネルギー事業者の育成と他業者とのネットワーク化を計り、次年度以降もこの取組を持続的に発展させていく。
岡山県備前市、和気町 赤磐市、瀬戸内市、岡山市	「晴れの国」市民太陽光 発電」から広がる自然エ ネ・省エネのまちづくり	「晴れの国」にふさわしい太陽光発電設備を、全国から集めた市民出資等を活用して、岡山県南(備前市、和気町、瀬戸内市、赤磐市、岡山市)の幼稚園・保育所等の公的施設または中小事業所等に設置し、「市民太陽光発電ステーション(仮)」とする。このステーションを中心に環境啓発事業を推進し、環境を感じ、考え、行動できる「自律」した人づくりを目指す。また、協議会に参加する各市町において、省エネ・自然エネ導入サービス事業を実施し、経済の活性化を図る。